主体的に読み深める力を育む文学的文章の指導

── プロフィールシートをもとにした交流を通して ──

国語班　船津　理恵（小学校教諭）

＜現状と課題＞

- 教師の指示に従って受動的に考えている児童が多い。
- 学習課題の解決に結びつく表現がいくつかあっても、一つ見つけただけで満足してしまう。
- 読み取ったことをもとに話し合う場面では、積極的に自他の考えを交流しながら学び合おうとする態度が身についていない。

望ましい児童の姿	手立て

学習の見通しと意欲をもつ

手立て①

- 作品の概容を把握できるようにする。
- 児童の意欲を喚起する学習課題を提示する。

課題解決に向けて自分で読み進める

手立て②

- 児童が学習課題を解決するのを手助けするようなプロフィールシートを工夫する。

友達と学び合って自分の読みを深める

手立て③

- 児童がプロフィールシートをもとに読み取ったことを友達と交流する場を設定する。

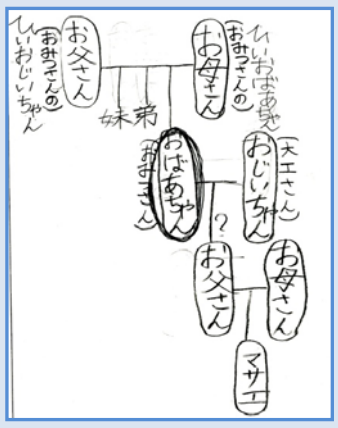
作品の概容の把握

- 挿絵を使ってのあらすじと作品構成の理解
- 第１場面からの作品の舞台となる場所の読み取り
- 家系図を描くことによる登場人物の把握

学習課題

- 誰がこの物語の主人公か
- おみつさんと大工さんは互いのどこを好きになったか
- わらぐつの中の神様とは、何か

↑挿絵を使ったあらすじと作品構成の理解



↑児童が描いた家系図

文章を読んでプロフィールを書く

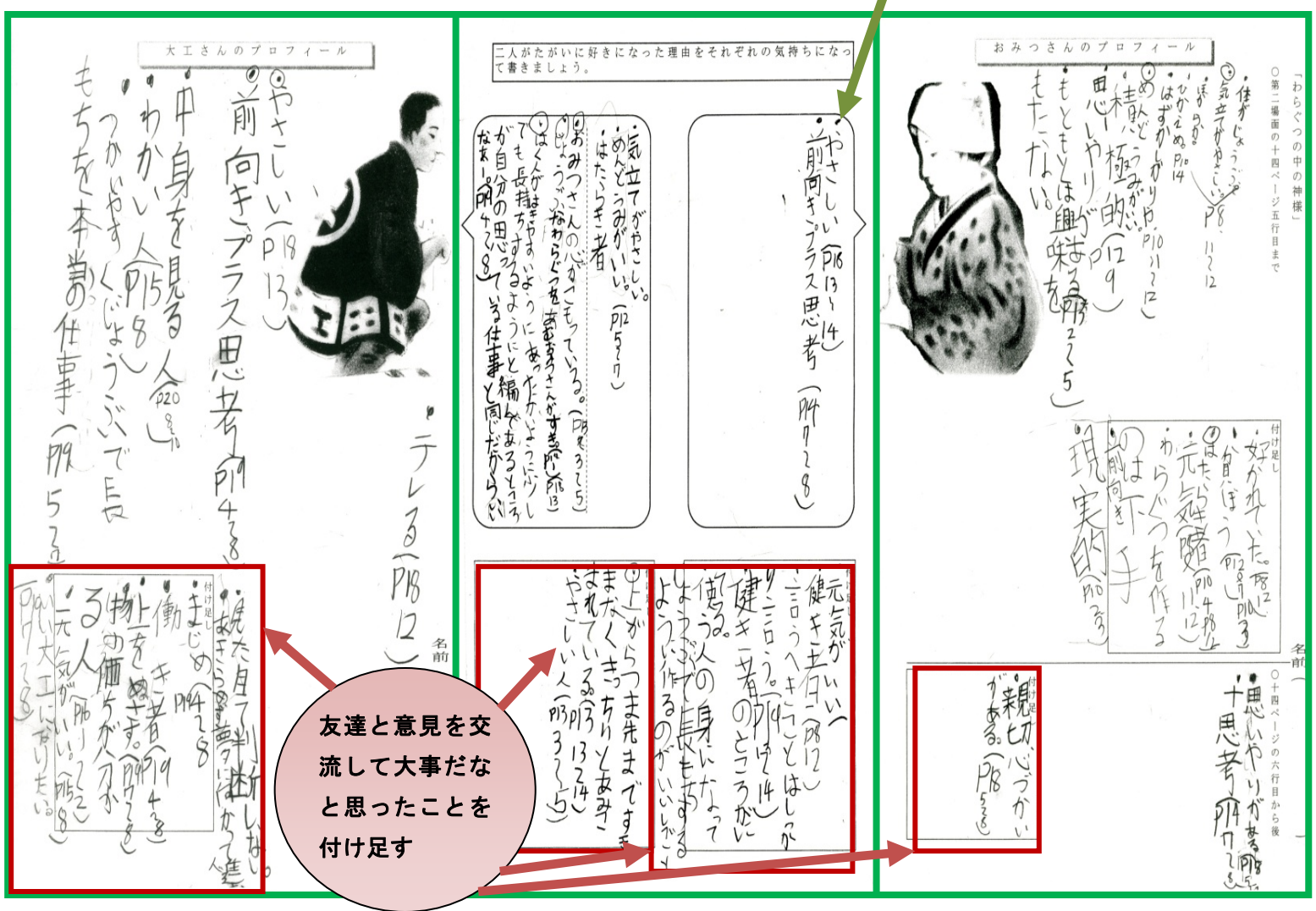
①②③の３枚のシートを貼り合わせることにより登場人物相互の関係をとらえやすくする

作成したプロフィールを見ながら互いを好きになった理由を書く

②大工さんのプロフィールシート

③登場人物相互の関係をとらえるためのシート

①おみつさんのプロフィールシート



友達と意見を交流して大事だなと思ったことを付け足す

＜成果と課題＞

○プロフィールシートを用いたことにより、児童はプロフィールの項目をたくさん探そうとして、文章のいろいろな部分から人物像を読み取ることができた。また作成したプロフィールをもとに友達と意見を交流する場を設けたことで、友達の意見で大事だなと思ったことを自分の読みに取り入れ、主体的に読み深めることができた。

●はじめにプロフィールシートへの書き込み方を例示してしまったので、プロフィールの書き方がみな同じになってしまった。自由にそれぞれのオリジナルのプロフィールを作るようにすれば、児童はもっと主体性を発揮できたであろう。

主体的に読み深めることができる児童